

事務事業評価シート

(H.28)No.	6107	(H.27)No.	6107
-----------	------	-----------	------

事務事業名	小学校給食費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	教育総務室	内匠 勝也	

会計区分	事業コード	471001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	小学校給食費	
項 小学校費	(小事業名)	
目 小学校管理費	小学校給食費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
小学校の給食施設・設備の適切な管理運営を行い、安全安心な学校給食を提供します。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の給食管理経費。 ・学校給食の調理業務を引き続き6校を民間に委託します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
	給食運営経費 ・被服費223千円 ・消耗品費3,136千円 ・施設設備等営繕費3,302千円 ・給食業務等委託料73,932千円 ・使用料56千円 ・備品購入費2,619千円 ・伊賀米負担金1,822千円	給食運営経費 ・旅費9千円 ・被服費633千円 ・消耗品費3,355千円 ・施設設備等営繕費3,101千円 ・給食業務等委託料81,965千円 ・使用料84千円 ・備品購入費1,539千円 ・伊賀米負担金1,820千円

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
給食運営経費 ・給食業務等委託料・業者選定 ・施設設備等営繕費 ・消耗品費 ・備品購入費 ・伊賀米負担金他	給食運営経費 ・給食業務等委託料・業者選定 ・施設設備等営繕費 ・消耗品費 ・備品購入費 ・伊賀米負担金他	給食運営経費 ・給食業務等委託料・業者選定 ・施設設備等営繕費 ・消耗品費 ・備品購入費 ・伊賀米負担金他

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	
①直接事業費	85,767千円	92,506千円	92,600千円	92,600千円	92,600千円	
内訳(千円)	国・県支出金					
	地方債					
	その他()	112	120	100	100	100
一般財源	(0) 85,655	92,386	92,500	92,500	92,500	
人工数	職員	1.04人	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人
	臨時職員等	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
②概算人件費	(0千円) 7,938千円	7,330千円	7,330千円	7,330千円	7,330千円	
①+②総事業費	(0千円) 93,705千円	99,836千円	99,930千円	99,930千円	99,930千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
老朽化した給食施設・設備の中で、衛生管理に配慮しながら、給食運営を効率よく実施する必要があります。	学校給食を安全かつ円滑に実施できるよう、給食施設・設備の修繕・改善を策定予定の学校施設整備計画に反映させ、緊急性と必要性を判断しながら、計画的に進めていく必要があります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	給食施設・設備の修繕・改善を進め、円滑な学校給食の運営を図りました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
学校給食を安全かつ円滑に実施していくため、給食施設・設備の修繕・改善を策定予定の学校施設整備計画に反映させ、緊急性と必要性を判断しながら計画的に進めます。	